

正しい知識で確実な防除を...



うめ
梅は他の落葉果樹に比べ開花期が早く、3月になると幼果期になるため重要な防除のスタートとなります。初期防除を怠っては秀品率が著しく低下するので、病害については予防を徹底して下さい。

●**灰色かび病**

落葉期から幼果期にかけて発生します。通風、採光が悪く、乾きにくい園地で発生が多くなります。

園内の風通し、日当たりを良くし、ナティーボフロアブルを散布して下さい。常発園では満開後にベルコート水和剤を散布して下さい。

●**かしよう病**

3月上旬から4月上旬にかけて枝に

病斑を形成し、葉では発芽展葉直後から感染します。果実への感染時期は通常4月上旬～5月上旬で風当たりの強い園で発生が多く見られます。常発園では、3月上中旬（花殻離脱開始前～葉芽発芽前）にICボルドー66Dで防除して下さい。

薬剤散布については、感染してからでは防除効果がほとんどないので、雨風前に散布することが重要です。

●**アブラムシ類**

アブラムシは卵で越冬し、ふ化後新葉を吸汁し縮葉させます。また果実が吸汁された場合は奇形果の被害が出ます。

発芽期の初期防除に重点を置き枝先まで十分に薬剤を散布して下さい。

●**晩霜害対策**

受粉した花は2～3週間後から低温抵抗性が低下します。幼果は晩霜害により萎縮、落下します。

低地、谷間の冷気が停滞しやすい園地は晩霜害が出やすいので、防風垣の下部を刈り込み、風通しを良くし、冷気が停滞しない様にして下さい。

対象病害虫	薬剤名	倍数	収穫前日数	年間使用回数
かしよう病	Zボルドー	500倍	葉芽発芽前	—
	(加用)クレフノン	200倍		—
灰色かび病	ナティーボフロアブル	2,000倍	前日	2回
	ベルコート水和剤	2,000倍	30日	3回
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	前日	3回

紀美野営農生活センター 浦 健士



みかん
令和7年度は裏年傾向の園地が多かった為、令和8年度は表年傾向の園地が多いと予想されます。また、樹によるバラツキが大きく感じます。結果母子数調査を行なった所感では短い母枝（充実不足）や夏秋梢が目立った印象があります。それにより今後生理落果等が懸念されますので、最終的な生産量については今後の状況により変わります。

●**整枝・剪定**

先月に引き続きの作業となりますが、新梢（春芽）と花のバランスを整えることが目的となります。園地、品種によって樹の状態が違うのでタイプ別の剪定を心掛けて下さい。結果母枝の多い樹については予備枝を設定するなど、新梢の発生を促して下さい。また、結果母枝が少ない樹に関しては、時期を遅らせ軽い間引き剪定を主体とします。少ない結果母枝を落とさないよう注意して下さい。強剪定や切り返し剪定は禁物です。

●**春肥の施用**

ミカンの樹は、貯蔵養分により発芽・開花を行います。その後の結実・果実肥大は春肥の養分によって行われます。施肥については、3月中下旬に早生温州では、ながみね粒状配合2号

で45袋、普通温州（年内）では5袋程度施肥して下さい。尚、配合肥料を施用する場合は、分解から吸収にいたるまで、約一ヶ月かかります。

●**樹勢回復対策**

昨年は地温の低下が早かったため、施肥の遅れた園地では、樹体内の養分が減少しています。着花（果）・発芽対策としてチッ素系の葉面散布剤（尿素500倍）などを発芽までの間に散布して下さい。

●**春草の除草**

春草が繁殖していると地温の上昇を妨げ、春肥の肥効の遅れや、みかんの生育遅れにもなりますので、除草する必要があります。

●**発芽前の病害虫防除**

・**カイガラムシ類・ミカンハダニ**
冬季にマシン油を散布しなかった園地については、3月中下旬に97%マシン油乳剤を60～80倍で散布して下さい。
・**カイヨウ病**
昨年カイヨウ病が発生した園では、発芽前の防除を徹底して下さい。

発芽前にicボルドー66Dの40倍又は、ムッシュボルドーDFの500倍を散布して下さい。アピオンE1000倍を加用すると付着量の増加、耐雨性の向上に繋がります。
※但し、マシン油乳剤とボルドー液（icボルドー含む）の近接散布は、20日程度あける必要があります。

●**品種更新**

高品質果実の安定生産のためには、優良品種に更新することが大切です。

3月になると気温が徐々に上昇し、発芽、展葉等、本格的に生育が始まります。しかし、3月中旬から4月上旬にかけて晩霜害の恐れがあり、芽に霜が降りると、芽が枯死するなどその後の新梢発育に悪影響を及ぼします。また、晴天で風のない日は霜が降りやすいので、気象情報に注意して下さい。晩霜害を受けやすい園地は降霜対策として剪定時に母枝を多めに残すと共に気流を停滞させない園地作りを心掛けて下さい。



現在、老木樹の増加により、隔年結果性が大きく発現しています。計画的優良系統に改植して下さい。又、同時にマルチ栽培や省力化できるような園地作りに努めて下さい。

しもつ営農生活センター 吉田 侑生

【施肥例】

施肥時期	12月～3月	1月～3月	3月中旬
肥料名	例1(従来型) 例2(はく皮型)	堆肥1t以上、 アヅミン3袋	苦土入りセルカ2号 10袋 または ミネマリン 10袋
			千代田549 2袋 ながみね粒状配合2号 7袋

【防除例・たねなし柿】

時期	対象病害虫	使用薬剤名	倍数	使用基準	
				収穫前日数	回数
3月下旬 (萌芽直前)	カイガラムシ類	アブロード水和剤 展着剤アビオンE1,000倍加用	1,000倍	45日	2回

【防除例・富有柿】

時期	対象病害虫	使用薬剤名	倍数	使用基準	
				収穫前日数	回数
3月下旬 (萌芽直前)	炭そ病・落葉病	デランフロアブル 展着剤アビオンE1,000倍加用	2,000倍	90日	5回

●**病害虫の防除**
近年ではフジコナカイガラムシの発生が目立ちます。越冬害虫対策として粗皮削りを必ず行つて下さい。また、粗皮削りは樹を若く保つためにも大変重要な作業です。越冬害虫の有無に係わらず必ず行いましょう。

紀美野営農生活センター 坪井 雅弘

表1

土壌改良資材	施用量 (10aあたり)
農力アップ	100kg
とれ太郎	60kg
ケイカル(粒)	100kg
BMヨーリン(粒)	60kg

●**耕起**
冬場に耕起していない田は3月末までに1回目の耕起をして下さい。耕起する事で越冬病害虫(ジャンボタニシやウンカ類)の発生密度を下げます。また同時に土壌改良剤を施用し耕起する事で、倒伏防止や高温障害の軽減につながります。

●**土作り対策**
土壌改良剤の施用例は表1を参考にして施肥して下さい。
ケイ酸を含む資材は稲の植物体を強くさせるので、病害虫の被害や高温障害を軽減します。さらには収穫前の倒伏防止にも効果があります。
特に『農力アップ』はケイ酸の溶出率が高く、ミネラル分、鉄、マンガンなどの微量要素がバランスよく含まれています。代かきの2週間程度前までに施用して下さい。

海南営農生活センター 田中 昌隆



●**施肥**
春肥は樹勢を維持するために重要な作業です。健全な新梢の伸長により翌年の充実した結果母枝の確保に努めて下さい。

●**防除**
1反当り、ながみね粒状配合2号を8袋またはながみね山椒配合(粒状)を8袋もしくは、JAわかやま山椒口ング配合を8袋施用して下さい。

●**防除**
カイガラムシ類等の越冬害虫の防除として石灰硫黄合剤の7倍を発芽までに散布して下さい。

海南営農生活センター 上森 悠平



岡畑部会長による挨拶



特集

今年も全国へ

蔵出ししもつみかん 販売スタート!!

1月10日、生産者や和歌山県・海南市、当JAで組織する地域ブランド推進連絡会議は「道の駅海南市サクアス」で、「蔵出ししもつみかんキャンペーン隊」の結団式を行いました。

海南市の神出政巳市長を始め、同連絡会議の関係者らが参加しました。キャンペーン隊は消費拡大を目指し市場や消費地でPR活動を行います。

「蔵出ししもつみかん」は12月頃に収穫を行い、糖や酸味のバランスが良くなるまで壁の厚さ約20センチの土蔵等で貯蔵し出荷します。

平成31年に「下津蔵出しみかんシステム」が日本農業遺産に認定され、また、令和7

年8月には「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」として世界農業遺産に認定されました。

年度内のみかんは夏場の猛暑や干ばつに見舞われましたが、蔵出ししもつみかんは果実肥大も良好で高品質に仕上がっています。25年度産は1月13日から出荷が始まり2650トンの出荷量を見込んでいます。

キャンペーン隊の団長を務める地域ブランド推進連絡会議の岡畑浩二会長は「世界農業遺産に認定された勢いを止めず、更なるブランド化や消費拡大に努め、地域活性化やミカン農業の維持・発展を目指したい」と力強く決意表明しました。

ぶんちゃん・海ニヤンと一緒にPR



結団式では、海南市のマスコットキャラクター、「海ニヤン」、「紀伊国屋ぶんちゃん」、熊野古道をイメージした平安衣装を着たキャンペーン隊によるPRも実施しました。

祈禱を受ける参加者



雑みかん祈禱式

1月9日、下津柑橘部会は蔵夢選果場で、特選ブランド「雑みかん」の祈禱式を行いました。下津柑橘部会員、J Aの販売担当者、県の関係者ら16人が参加しました。

「雑みかん」の名は、ひな段の右側に飾る「右近の橘（みかんの原種）」にちなんで子供たちの健康を願って付けられており、光センサーで選別した糖度12度以上のみかんに、ひな段に供えられるよう1キ口入りの小袋を付けて出荷します。

式典では、温州みかんの起源に縁のある橘本神社の前山和範宮司が無病息災、販売促進を祈願し、関係者らは祭壇に玉ぐしを捧げました。

岡畑浩二下津柑橘部会部会長は「甘味と酸味のバランスが良く仕上がっているのは、非食べて頂きたい。今後は、関西を皮切りに東京や北海道、新潟など主要都市でのキャンペーンを行い、ミカンのブランド力アップにつなげたい」と話しました。



雑みかん



とれたて広場にてPRする 岡野本部長と宮本販売課長

JAグループ協賛 ジュニア駅伝代表メンバーを応援

1月15日、和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝に出場する、海南市と紀美野町それぞれの代表メンバーに、激励の記念品として蔵出しもつみかんとマフラータオルを贈りました。

海南市壮行式に出席した岡野清隆本部長は、「代表として一つの目標に向かってひたむきに努力を重ねタスキを繋いでほしい」と激励しました。

当大会は2月8日に開催され、和歌山市紀三井寺陸上競技場から和歌山市県庁前までの10区間21.1kmを小中学生混合チームで競い合いました。

今年もJAグループ和歌山が同大会に協賛しており、ながみね管内の海南市と紀美野町の選手団の応援を行いました。



紀美野町代表メンバー



海南市代表メンバー

楽しい
企画がいっぱい!!

ながみね女性会

2026年度
会員募集!!



- 女性の集い&講演会
- ボッチャ大会・体操
- 日帰り旅行・ウォーキング
- 各ブロックや支部の地区別活動など

年会費:500円

☆詳しくはお近くの各センター・支店までお問合せ下さい。

組合員のみなさまへ...とれたて広場情報



ファーマーズマーケット

とれたて広場

こゆっくりお買い物をお楽しみ下さい。

☎ 487-0900

2月~3月のイベント情報

開催日	イベント	内容
2月14日(土)~15日(日)	提携ファーマーズ物産展	ご当地の農産物店頭販売!!
2月21日(土)~22日(日)	中晩柑フェア	旬の中晩柑の店頭販売!!
2月28日(土)~3月1日(日)	ひなまつりイベント	店頭販売いちご特売!!
3月 7日(土)~ 8日(日)	中晩柑フェア	旬の中晩柑の店頭販売!!
3月12日(木)~17日(火)	お彼岸準備フェア	花卉・果物大量入荷!!
3月21日(土)~22日(日)	中晩柑フェア	旬の中晩柑の店頭販売!!
3月28日(土)~29日(日)	提携ファーマーズ物産展	ご当地の農産物店頭販売!!

最強炭酸水 自動販売機稼働中!!

- 市場にない「硬水」炭酸水が提供可能!
- 5種類の炭酸水が提供可能で5種類すべてが「強炭酸」
- 炭酸水でお料理がさらに美味しく!!



● 土曜・日曜は、大人気
『石焼き芋』の販売日!!



※農産物等の出荷状況などでイベントスケジュールに変更ある場合があります。
※その他、毎週イベント広場は旬の農産物中心にイベントを開催します。

■ 営業時間: 9:00~17:00
■ 定休日: 毎週水曜日





女性会の台所

大根の葉とシラスのふりかけ

材料

- 大根の葉 1本分
- シラス干し(固め)
..... 大4~5
- 醤油 大3
- ごま油 大1
- 砂糖 大1
- みりん 大1
- 白ごま 適量

作り方

- ① 大根の葉を5mm幅に切る。
- ② フライパンにごま油を入れて中火で熱し、大根の葉を入れてしんなりするまで3~4分炒める。
- ③ シラス干し、みりん、しょうゆ、砂糖を加えて全体を混ぜる。
- ④ 白ごまを加えて全体を軽く混ぜる。

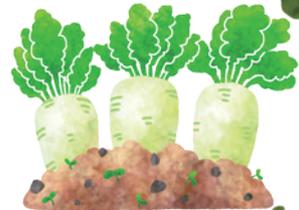


*** 女性会南野上支部より一言 ***

大根の葉を使った栄養豊富なふりかけです。ご飯のお供や豆腐の上のせてもおいしいですよ。

【お問合せ先】

海南営農生活センター ☎073-487-1935



よ天気カレンダー

風にたゆたう



気象の区分では3月から春になります。春は強風の季節です。冬の間は、北寄りの風が強いことが多いですが、春の風はまちまちです。北寄りの風が強い日もあれば、南寄りの風が強まり、春一番となることもあります。まだ出始めたばかりの新芽や木の枝が風に揺蕩(たゆた)う様子は、早春ならではの風景です。

その風の変化に合わせて、日々の気温の変化も大きくなります。冬の名残のような寒い日もあれば、ポカポカの春本番の暖かさになることもあります。コートの際を立てて、前を押さえながら歩くこともあれば、コートを脱いで一気に薄着になれることもあり、服装を合わせるのが難しい時期です。

低気圧と高気圧が交互に通る、空もせわしく動き、天気も目まぐるしく変わって安定しません。忙しい年度末、卒業や異動などで環境が変わることもあり、心も落ち着きません。いろいろなものが揺れ動くのが3月です。



〇〇さん家のペット

~海南管内「梅本 健司」さん家~

すう(7歳)

「すう」という名前は、呼びやすく響きがいいことから名付けました。性格はとってもおてんばで、毎日元気いっぱい走り回っています。

すうの特技は、なんと白菜の丸かじり! シャキシャキと美味しそうに食べる姿は、見ただけで癒されます。生野菜が大好きで、特に白菜やキャベツを食べているときは幸せそうです。

一方で、お風呂はちょっぴり苦手。お風呂の時間になると、どこかに隠れてしまうこともあります。



梅本さんは、すうは家族にとってかけがえのない存在。これからも、梅本家の大切な家族として、元気に楽しく過ごしてほしいと話しました。